

# 令和3年度事業計画



国際理解教育プレゼンテーションコンテスト（令和2年12月19日、朱鷺メッセ）



公益財団法人新潟県国際交流協会

## 令和3年度事業計画

平成2年10月に設立された当協会は、平成25年4月に公益財団法人に移行し、令和2年に設立30周年を迎えました。

当協会は、幅広い県民参加による国際交流の推進を目的に、国際交流、国際協力の促進及び多文化共生の地域づくりに取り組んでまいりました。

中国、韓国、ロシア、モンゴルの領事館が設置されている新潟県は、北東アジア地域を中心とする対岸諸国との交流の拠点の役割を果たしています。

新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、一時的に外国人留学生の数は減少していますが、一方で技能実習生は増加し、ベトナム、フィリピン、インドネシア、タイなど東南アジア諸国からの本県への在住者が増えてきています。

当協会では、新潟県に在住する外国人の悩みに応えるため、令和元年10月に「外国人相談センター新潟」を開設し、中国語やベトナム語など8言語で在留資格、教育などの生活相談を行ってきており、さらに医療、福祉などについての情報提供の要望が高まっていることから、行政と連携して更なる相談機能の充実を図ることとしています。

昨年来のコロナ禍で、当協会の活動は大きな制約を受けました。当協会が進めてきた“参加者が集い、理解を深め合う交流活動”の実施が困難となってしまいました。

当面は、新型コロナの感染拡大防止に配慮して事業の規模を縮小して開催したり、あるいはオンラインを活用して遠隔地からも参加できるように事業を実施することとしています。

また、国の新型コロナウイルス対策交付金を活用し、情報環境を整備してオンラインでのセミナーをより円滑に開催できるようにするとともに、外国人向けの様々な情報発信に対応できるようにホームページの改修を行います。

国内のワクチン接種の普及などにより感染の収束が見通せるようになった段階で、これまでのような対面のメリットを活かした事業も再開していきたいと考えています。

当協会の財政状況は、新潟県の財政危機による更なる補助金削減や基本財産等の運用金利の低下など極めて厳しいものがありますが、事業費や一般経費の見直しなどに知恵を絞り、行政や民間団体等と連携して、国際交流の活発化や国際協力、誰もが住んで良かったと実感する多文化共生社会の形成を目指して取り組みを進めてまいります。

## 1 基本方針

### (1) 国際交流の活発化に向けた活動

新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、海外からの日本への入国が制限されるなど、これまで行われていた多くの交流が妨げられる状況が続きました。

海外との経済、文化、教育、学術などの交流の拡大は、相互の繁栄に資するだけでなく、県内の活性化に加え、新たな地域文化の創造にもつながります。

海外渡航制限の状況などを考慮しながら、本県のこれまでの国際交流の実績を活かし、東アジア地域を中心とした海外との多分野における人的往来が活発となるよう取り組みを進めます。

### (2) 国際協力活動への支援

海外における人道支援活動等を行う県内NGO等に対する援助に加え、相手国の発展を担う人材や本県との交流の架け橋となりうる人材の育成、ネットワークの拡大や人的往来の活発化につながるような取り組みの支援など、新潟からの国際協力の推進を図ります。

### (3) 県民と在住外国人の共生による地域活性化の支援

増加傾向にあった本県の外国人労働者数は一時的に停滞していますが、将来的にはさらに多くの、そして多様な国や地域出身の外国人が本県に居住することになると予想されます。

そうした在住外国人は、地域で生活していく中で、教育や医療・福祉、災害時の対応などさまざまな問題に直面しています。

県民も外国人も共に地域の一員として文化や生活習慣を正しく理解し合い、互いに尊敬し合うことができる社会の実現を目指して、在住外国人とのコミュニケーションを促進する取り組みを複合的に実施します。

## 2 事業の体系及び個別事業の内容

別記1、2のとおり

## [ 別 記 1 ] 事業の体系

※ 事業費は管理費を除く純事業費

<b>I 国際交流の活発化</b>	<b>4,050,000 円</b>
1 外国人の受入れ拡大事業	3,400,000 円
2 アジアを知る事業	400,000 円
3 受け皿整備事業	250,000 円
<b>II 国際協力活動の支援</b>	<b>4,000,000 円</b>
4 新潟・国際協力ふれあい基金助成事業	4,000,000 円
<b>III 多文化共生の支援</b>	<b>20,455,000 円</b>
5 国際理解推進事業	3,500,000 円
6 在住外国人支援事業	14,955,000 円
7 留学生支援事業（留学生交流推進員事業）	2,000,000 円
<b>IVの1 基盤強化（民間活動活発化）</b>	<b>5,240,000 円</b>
8 民間団体助成事業	3,740,000 円
留学生交流推進員事業（再掲）	
9 市町村・民間団体ネットワーク事業	250,000 円
10 在住県人会等活動支援事業	1,250,000 円
<b>IVの2 基盤強化（人材育成）</b>	<b>2,330,000 円</b>
11 人材育成事業	2,330,000 円
<b>IVの3 基盤強化（広報情報提供）</b>	<b>1,322,000 円</b>
12 広報ライブラリー運営事業	772,000 円
13 IT活用促進事業	380,000 円
14 賛助会員募集事業	80,000 円
15 国旗等貸出事業	90,000 円
<b>V 新型コロナウイルス対策交付金事業（新規・臨時）</b>	<b>4,300,000 円</b>
<b>事業費合計</b>	<b>41,697,000 円</b>

## I 国際交流の活発化

**R 3 : 4, 050 千円 (R 2 : 2, 256 千円)**

※予算は管理費部分を除く純事業費を記載 (以下同様)

### 1. 外国人の受入れ拡大事業 (3, 400 千円)

地理的・歴史的に本県とのつながりが深い東アジア地域について、県や関係団体等と連携しながら、民間レベルでのより一層の相互交流の拡大を図る。

#### (1) 北東アジア友好交流促進事業

##### ア 黒龍江省との友好交流促進事業

###### (ア) 日本語教師派遣事業(県委託事業)

中国黒龍江省への日本語教師派遣に対し助成する。

(R 2) 新型コロナウイルスの影響で日本語教師の派遣中止

###### (イ) 黒龍江省との交流事業

黒龍江省対外友好協会等と連携し、黒龍江省で日本語を学ぶ学生による日本語スピーチコンテストを開催するとともに、同コンテストの優秀学生を新潟に招待する。

(前回実績) 「2019 “新潟杯” 日本語スピーチコンテスト」

令和元年6月24日(月)、佳木斯大学会議室

出場者13名(観覧者約150名)

##### イ モンゴルとの友好交流促進事業

###### (ア) モンゴルへの技術協力事業

(特活) 新潟県対外科学技術交流協会ほか関係団体とともに実行委員会を組織し、地方都市の中小企業への技術協力等の事業を実施する。

###### (イ) モンゴルとの交流事業

新潟県との交流を推進する目的でモンゴル国内に設立された「モンゴル・新潟親善協会」と連携し、モンゴル国で日本語を学ぶ学生による日本

語スピーチコンテストを実施する。

(R 2実績) 新型コロナウイルスの影響で延期

(H30実績) 平成30年9月13日(木)

モンゴル国日本人材開発センター

出場学生8名(観覧者約200名)

#### ウ 北東アジア友好交流促進事業

新潟総領事館等の外国公館をはじめとする関係機関と連携して友好交流促進事業を実施する。

## (2) 留学生就職支援セミナーの開催

留学生の県内企業への就職を支援するため、関係機関と連携し日本での就職活動における留意事項、就業に際して必要な知識及び就職情報などを提供するセミナーを実施する。

(R 2)

・10月30日(金) 朱鷺メッセ

留学生48名 企業関係者25名参加



留学生就職支援セミナー

## 2. アジアを知る事業(400千円)

県が重点的に交流を進めているアジア地域への関心を高め、歴史・文化などの理解を深めるため、地域の大学等と連携しながら、一般県民向けの講座を県内各地で開催する。

(R 2) 県内4地区全4回

(新潟市、胎内市、柏崎市、上越市)

参加者延べ106名



国際理解セミナー「アジアを知る！」

### 3. 受け皿整備事業（250 千円）

国際理解の推進と海外からの来県者のホームステイ先の確保・充実を図るため、ホームステイについての説明及び留学生・外国語指導助手(ALT)と交流するホストファミリー講座やホームステイ受け入れ体験を実施する。

(R2)ホストファミリー講座及びホームステイ受け入れ体験は、新型コロナウイルスの影響で中止



留学生と中高生との交流（胎内市）

## II 国際協力活動の支援

R 3 : 4,000 千円 (R 2 : 5,000 千円)

### 4. 新潟・国際協力ふれあい基金助成事業 (4,000 千円)

「新潟・国際協力ふれあい基金」の運用益をもとに、海外における NGO の人道援助活動に対する財政支援等を通じ、新潟からの国際協力の推進を図る。

[支援の内容]

北東アジア地域を中心とするアジア地域及びその他の当県とつながりのある地域を対象とする次の活動に対して、効果的な助成を行う。

#### ① 間接支援

(申請できる人)

活動の本拠地が新潟県内である民間団体、個人、企業

(申請内容)

- ・被災地における人道援助活動、開発途上地域における国際協力活動
- ・対象地域のうち開発途上地域における医療、教育、環境、人材育成等の国際協力活動 等

#### ② 直接支援

緊急支援を必要としている地域等に対し、協会が基金から財政支援を実施

[令和2年度の支援実績]

間接支援(民間団体等助成) 7 件、助成額計 6,019 千円

【平成7年度(基金設立)～令和2年度の助成累計】

	件数(件)	助成累計額(千円)
間接支援(民間団体等助成)	216	167,347
直接支援	10	8,600
合 計	226	175,947



### Ⅲ 多文化共生の支援

R 3 : 20,455 千円 (R 2 : 25,432 千円)

#### 5. 国際理解推進事業 (3,500 千円)

県民の国際感覚や国際認識を高めるため、世界に関心を持ち自ら積極的に考える機会を提供する。

##### (1) 国際理解教育プレゼンテーションコンテストの開催

学校や地域における国際理解に関する学習や活動についてプレゼンテーションを行うコンテストを開催する。

(R 2) 12月19日(土)、

朱鷺メッセ・国際会議室

出場：中学生部門6チーム、

高校生部門7チーム



国際理解教育プレゼンテーションコンテスト

##### (2) 県民向け広報誌の発行

一般県民向けに、国際交流・国際協力に対する意識啓発と協会事業への理解を促進するための広報誌(日本語版・英語版)を発行する。

(R 2) 「NIA Letter」 第20号・第21号を発行

【日本語版】 県内の高校、高等教育機関、図書館等に配付 各号 10,000 部

【英語版】 県内の図書館、公民館等に配付 各号 2,500 部

##### (3) 国際理解教育推進協議会の開催

協会が実施する県内の小・中・高等学校等における国際理解教育事業について、専門的見地から意見・アドバイスを受けるとともに、当協会と共催で事業を実施することにより、国際理解教育の推進を図る。

(R 2) 協議会総会 3月下旬(書面で情報交換・意見交換の予定)

#### (4) 国際交流プラザでの講座・展示の実施

国際交流プラザを活用し、小・中学生・高校生等を対象に国際交流や国際協力について学ぶ講座を実施するとともに、一般県民も参加できる外国の風習・文化を体感するフェアやイベントを開催し、国際交流等への理解促進を図るとともにプラザの活性化を図る。

(R 2)

モンゴルフェア/ハロウィーンフェア  
クリスマスフェア/国際女性デーフェア



モンゴルフェア

### 6. 在住外国人支援事業 (14,955 千円)

在住外国人が地域住民の一人として安心して暮らすことができるよう、生活相談や児童生徒の教育支援等、地域における在住外国人に対する支援事業を実施する。

#### (1) 外国人生活相談の実施

「外国人相談センター新潟」を運営し、県行政書士会・県弁護士会等と連携し県内の在住外国人が生活上の諸問題について、必要な情報を得たり、適切な相談場所に到達できるよう、多言語で生活相談を行う。(県委託事業)

(R 2) 令和2年4月～令和3年1月まで

- ・総件数：623 件（令和元年度は年間で 476 件）
- ・手 段：①電話 520 ②面接 63 ③メール 40
- ・言 語：①日本 517 ②フィリピン 47 ③中国 25 ④その他 34
- ・内 容：①入管 128 ②教育 122 ③雇用 68 ④その他 305

#### (2) 相談員・通訳員の育成

市町村や市町村国際交流協会等で外国籍住民からの相談を担当する職員及び相談員・通訳員等を対象に研修を実施する。

(R 2) 相談員・通訳員育成研修

10月25日(日) 朱鷺メッセ



相談員・通訳員育成研修

### (3) 相談関係機関との連携

県行政書士会と連携し、東京出入国在留管理局新潟出張所において外国人向け無料相談会を開催する。

(R2)新型コロナウイルスの影響で無料相談会を中止

### (4) 外国につながる児童生徒等の教育支援

外国につながる児童生徒の教育環境の改善のため、「新潟県外国につながる児童生徒等教育支援ネットワーク協議会（新潟県多文化こどもネット）」の事務局として、会員とともに課題の解決に取り組む。

また、外国につながる児童生徒及び保護者を対象に、日本の学校制度や高校進学等について通訳を介して説明する進路ガイダンスを県内各地で開催するとともに、多言語の関係資料を更新しホームページ等で提供する。

(R2)

○新潟県多文化子どもネットによる研修会（いずれもオンラインで実施）

第1回：8月2日(日)「オンラインによる教育支援について」

第2回：3月19日(金)「子どもの学ぶ力に寄り添う支援について」

○進路ガイダンス

上越市：10月31日(土) 14名

11月14日(土) 37名

12月19日(土) 10名

参加者計 61名



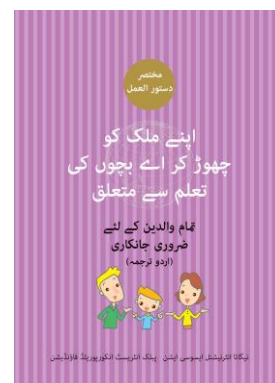
進路ガイダンス（上越市）

○電話教育相談窓口

毎週火曜日 相談件数13件（1月末まで）

○保護者向けガイドブック

4か国版（日・英・中・フィリピン）を改訂するとともに、新たにウルドゥー語（パキスタン・北インドの言語）版を作成



ウルドゥー語版ガイドブック

## (5) コミュニケーション促進事業（新規）

多文化共生社会の実現に向け、在住外国人とのコミュニケーションを促進する取組を複合的に実施する。（自治体国際化協会補助事業）

- ・多文化共生セミナーの開催
- ・やさしい日本語研修会の開催
- ・指さしカードの作成・普及
- ・在住外国人との交流会の実施

（R 2）上越市で在住外国人との交流会を実施（11月28日（土））

## 7. 留学生交流推進員事業（2,000千円）（新規）

国際交流等に積極的に取り組む留学生を「留学生交流推進員」として登録し、その実際の活動に対して支援金を支給することにより、県内の国際交流の活性化や多文化共生社会の推進を図る。

活動支援金の支給（30名程度を想定）

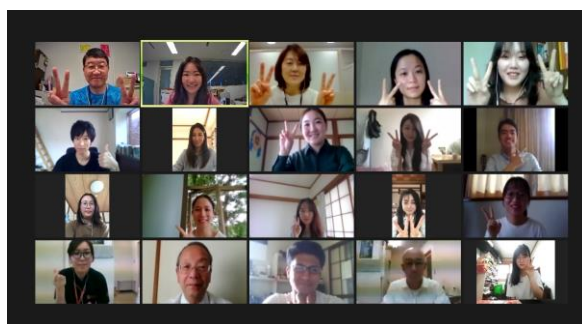
- ・協会が主催（支援）する事業への参画：1回 5千円及び交通費
- ・自ら企画・運営する事業の開催：1回 20千円

（R 2）「留学生交流員」事業では15名を任命

活動支援金 月額 30千円×12月×15名

オンライン任命式：令和2年7月18日（土）

オンライン活動報告会：令和3年3月12日（金）



オンライン任命式（7月）



国際交流キャンプでの活動（8月）

## IVの1 基盤強化（民間活動活発化）

R 3 : 5, 240 千円 (R 2 : 5, 440 千円)

---

### 8. 民間団体助成事業 (3, 740 千円)

民間団体等が実施する国際化推進活動を支援するため、次の事業を実施する。

#### (1) 国際化推進活動助成金の交付

##### ア 国際化推進活動助成金

県内の民間団体を実施する国際交流・国際協力及び多文化共生に関する事業に対し助成金を交付する。

なお、民間団体が利用しやすいように、年2回事業の募集を行う。

(R 2) 採択数 13 件 交付決定額 1, 886 千円

##### イ 海外県人会等との青少年交流支援

県や関係団体と連携し、海外県人会等から協力を得ながら、海外で活躍する本県出身者との交流やスポーツ交流、ホームステイ等を実施する。

(R 2) ハワイ州少年野球チームとの交流は、新型コロナウイルスの影響で中止

#### (2) 国際交流プラザの貸出

民間団体の活動促進のため、国際交流プラザを賛助会員の民間団体に無料で貸し出す。

(R 2) 研修室貸出 33 件(1月末まで)

## 9. 留学生交流推進員事業 (2,000 千円) (新規) (再掲)

国際交流等に積極的に取り組む留学生を「留学生交流推進員」として登録し、その実際の活動に対して支援金を支給することにより、県内の国際交流の活発化や多文化共生社会の推進を図る。

(R 2) 「留学生交流委員」事業では 15 名を任命

## 10. 民間団体ネットワーク構築事業 (250 千円)

県内における国際交流・国際協力及び多文化共生等に関連する民間団体等とのネットワークの構築及び情報・意見交換を行うため、国際交流連絡会議を県内 3 地域で開催する。

(R 2)

- ・新潟会場：7月31日(金) 朱鷺メッセ  
参加 28 団体、32 名
- ・長岡会場：7月29日(水) アオーレ長岡  
参加 7 団体、13 名
- ・上越会場：7月27日(月) 上越市市民プラザ  
参加 9 団体、16 名



国際交流連絡会議 (新潟会場)

## 11. 在外県人会等活動支援事業 (1,250 千円)

在外新潟県人会の活動を促進するため、活動支援補助金を交付する。(ブラジル、アルゼンチン、パラグアイ、ペルー、ホノルル、南カリフォルニアを想定)

(R 2)

対象 3 団体 (ブラジル、アルゼンチン、パラグアイ)

補助額計 750 千円

## Ⅳの2 基盤強化（人材育成）

R 3 : 2, 330 千円 (R 2 : 2, 330 千円)

---

### 12. 人材育成事業 (2, 330 千円)

市町村国際交流協会やNGO、NPO等の民間団体等の活動を支える人材やボランティア、次世代を担う若者の育成を図る。

#### (1) NGO スタッフ育成事業

国際交流・国際協力等を目的に設立された県内のNGOや、これからNGO活動を始めたい人を対象とした研修等を実施する。

(R 2) NGOスタッフ育成研修(民間団体に委託)

3月6日(土) オンラインで実施

#### (2) ボランティアバンク運営事業

ボランティア登録者の増加やボランティア向け研修の充実等、ボランティアバンクのさらなる活性化を図る。

(R 2)・ボランティアバンク運営

通訳・翻訳ボランティア：259名の登録

イベント運営ボランティア(アースサポーター)：124名の登録

・通訳・翻訳ボランティアセミナー

3月27日(土) オンラインで実施

#### (3) 国際交流ファシリテーター養成事業

小・中学生・高校生の国際理解の促進に資するため、大学が養成した「国際交流ファシリテーター」を県内小・中・高等学校等へ派遣し、国際理解ワークショップを実施する。



新潟翠江高校にて (2019)

(R 2)

- ・連携大学：新潟国際情報大学、敬和学園大学、新潟県立大学、上越教育大学、新潟大学
- ・ファシリテーター：計 87 名、
- ・ワークショップへの派遣：21 校 38 回（オンライン開催を含む）
- ・事業評価会議：3 月 16 日(火)オンラインで開催

#### (4) 国際理解教育推進支援事業

県内における国際理解教育の充実及び進展を図るため、新潟県国際理解教育推進協議会との共催により、県内小・中・高等学校等の教職員を対象とした国際理解教育セミナー等を実施する。

(R 2) ・国際理解教育セミナー

11 月 21 日(土) オンライン開催

- ・国際教育研究会ワークショップ(民間団体に委託して開催)

9 月 27 日(日)、11 月 14 日(土) 両日ともオンライン開催

#### (5) 医療通訳等支援事業

県や市町村、民間団体と連携し、外国人患者が医療機関を受診する際に通訳支援を行う「医療通訳」や「医療コーディネーター」の配置の取組みを支援する。

(R 2) ・外国人への医療支援に関するセミナー

3 月 15 日(月) オンライン開催

#### (6) 災害時外国人支援人材育成事業

県や市町村と連携し、災害時の外国人支援について、関係機関職員やボランティアを対象とした研修の開催を支援する。

(R 2) 災害時外国人サポーター養成講座

12 月 6 日(日)新発田市、参加者 44 名



災害時外国人サポーター養成講座 2020



## IVの3 基盤強化（広報情報提供）

R 3 : 1, 322 千円（R 2 : 3, 492 千円）

---

### 13. 広報ライブラリー運営事業（772 千円）

民間団体や一般県民等に、国際交流・国際協力に関する情報や協会の事業等について情報提供する。

#### (1) PR記事掲載

協会の事業について、団体等の広報媒体を活用してPRする。

#### (2) 年次報告発行

協会の事業内容等の周知を図るため、毎年度の事業実績等を掲載した年報を作成する。

#### (3) 国際交流団体一覧の更新

県内を拠点に国際交流活動を行う団体の活動等を調査し、「県内国際交流・協力団体情報」に掲載し、ホームページ等で公開する。

#### (4) プラザ・ライブラリー運営

「国際交流・国際協力」、「海外情報」等に関する情報提供及び団体等の活動紹介等の場として国際交流プラザを運営し、外国に関連した書籍・雑誌や新聞を配架して来館者の利用に供する。



書籍・雑誌の配架

#### (5) 協会リーフレット等の作成

協会及び協会事業を周知するため、協会の概要や事業等を広報する資料を多言語で作成する。

#### 14. IT活用促進事業（380千円）

多言語（日本語、英語、中国語、韓国語、ロシア語）ホームページにより各種情報を提供する。

#### 15. 賛助会員募集事業（80千円）

国際交流活動への幅広い県民参加を促進する基盤づくりとして、会員へのサービス向上を図り、個人及び団体の新規会員の確保に向け賛助会員の募集を強化する。

賛助会員数 個人 34、団体 51（1月末日現在）

##### ◆会員サービスの内容

個人会員のみ	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 朱鷺メッセ関係施設利用割引</li><li>・ 県立近代美術館（万代島美術館を含む）入館料割引</li><li>・ レストラン、旅行代理店等店舗利用割引</li></ul>
団体会員のみ	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 国際化推進活動助成金の利用</li><li>・ 国際交流プラザの貸出及びパネル展示</li><li>・ 印刷機の利用</li></ul>
共 通	<ul style="list-style-type: none"><li>・ イベント案内チラシ等の送付</li><li>・ 国際交流プラザの図書等、国旗、民族衣装等の貸出</li></ul>

#### 16. 国旗等貸出事業（90千円）

地域における国際理解や友好親善を支援するため、世界各国の国旗、民族衣装等を国際交流等の活動を行う賛助会員や団体へ貸し出す。

## V 新型コロナウイルス対策交付金事業（新規・臨時）

R 3 : 4,300 千円 (R 2 : - 千円)

事業名	予算(千円)	概要
国際交流プラザ等無線LAN環境の整備 (オンライン対応)	500	新型コロナの影響でオンライン形式でのセミナー開催が増加しているため、Wi-Fiを設置することにより、国際交流プラザを活用したオンラインセミナーを円滑に実施できる環境を構築する。 (250千円×2か所)
外国人向けの新型コロナ情報発信対応のホームページ改修	2,750	新型コロナで交流活動が制限されているため、ホームページを通じた在留外国人向けの情報発信の重要性が増している。 新型コロナや防災情報等の外国人向け広報を強化する観点から、スマートフォンに対応できるようにホームページのリニューアルを行い、あわせて外国人に必要な情報が届くよう周知を図る。
新型コロナ対策のための備品整備	1,050	新型コロナウイルス感染拡大防止対策に必要な備品を整備する。  <ul style="list-style-type: none"> <li>・サーマルカメラ : 500 千円</li> <li>・除菌機能付き加湿空気清浄機 : 240 千円</li> <li>・ハイブリッド型セミナー用 WEB カメラ (40 千円×3 台) : 120 千円</li> <li>・パーテーション等 : 190 千円</li> </ul>